



当院では昨春より平成25年7月のオープンに向けて新病棟の建替整備工事を行っているところです。新病棟は5階建ての建物で、1階から4階までが病棟で220床(うち結核ユニット20床)で、ポストNICUの病床も設置する予定です。病棟の他に1階に薬剤部門、5階に手術室、中央材料室、機能訓練室、言語療法室を設置いたします。新しい病棟では個室を増やし、室内にはトイレ、シャワー、洗面台等を設置する予定です。また、各病棟にはゆったりとした雰囲気のリビングを配置するなど、アメニティの充実を図り、患者さんが落ち着いて療養していただけるような環境整備に努めます。

さて、現在の工事の進捗状況ですが、工事開始後は台風等の影響もなく天候に恵まれて、計画通り順調に進んでおります。建替整備工事は24年7月から9月にかけて旧機能訓練棟の跡地に地盤改良・基礎工事を実施し、現在(25年1

月初旬)は、3階部分までの躯体工事が完了しているところです。1月、2月には4階～5階の配筋・型枠工事、3月には屋上部分の仕上げ及び外壁、外構工事、4月から5月中旬にかけては、電気・機械設備工事を実施し、5月中旬から1か月をかけて各種検査を受け、6月末には各部門、入院患者さんの新病棟への移転を計画しています。

愛媛病院には2階建てまでの建物しかありませんので、新病棟完成後は院内だけではなく院外からも一望できるものと思います。

本年は愛媛病院にとって新病棟オープンという大きな節目の年となります。今後も患者さんに信頼されるよう、地域医療に貢献していきたいと考えておりますので、引き続き愛媛病院をよろしくお願いいたします。

事務部長 山本 美二

Reborn 2013.4.1

# 愛媛医療センター

へ名称変更

愛媛病院は平成25年4月から名称を愛媛医療センターに変更します。

当院の歴史を振り返ると昭和14年に傷痍軍人療養所としてスタートし、戦後は愛媛県の結核医療の中心的役割を果たし、住民の皆さんには“療養所”の呼び名で親しまれていました。その後国立から独立行政法人化となり国が行うべき政策医療だけでなく、地域に根ざし、地域に必要とされる病院の姿が求められています。そして東温地区の一般急性期病院としての役割を医師会の先生方とも協力して果たしています。また高度先進医療を行う愛媛大学病院、



新生  
愛媛医療センターに  
ご期待ください

そしてガン医療に特化した四国がんセンターとも協力関係にあります。

本年7月には新病棟も完成し、入院病棟はすべて新しくなります。この機会に結核療養所のイメージを払拭し、新しい医療を目指している当院をアピールするためにも名称変更致します。国立病院機構の中国四国地域のほとんどの病院は名称を～病院から～医療センターに変更しております。

新しい名前にふさわしいように、政策医療と地域医療のそれぞれ分野で当院の求められる特徴を出していきます。政策医療では、重症心身障害者医療でポストNICU的役割の強化を行い、神経難病については基幹病院としての充実を図ります。地域医療では急性期医療だけでなく、今後は高齢者問題が重要になってきますので、高齢者医療そして機能回復センター的な役割を重視しています。来年度より、一般急性期病棟は7：1看護体制にアップしてより充実した医療を目指します。

良い伝統である、患者にやさしく、信頼される病院であること。そしてスタッフにとって愛着があり、働きがいのある病院づくりをしていきたいと思えます。愛媛医療センターになる当院を今後とも宜しくお願い致します。

新病棟に  
続いて

## サービス棟建て替え決定

当院としては、①新病棟新築、②サービス棟新築、③外来管理棟新築という段階的な整備構想を持っています。

その1段階の全職員の念願であった新病棟新築については、計画から着工まで紆余曲折を経て、また、東日本大震災の影響もあり長い期間を要しましたが、この愛媛病院ニュースが皆様のお手元に届く頃には5階建ての新病棟のうち4階くらいまでの躯体が完成している頃だと思えます。

新年度からは職員の大幅な増員を計画しており、更衣室等が不足することや、現在のサービス棟が老朽化していることなどから、平成23年10月にサービス棟新築整備計画を機構本部に申請し、平成24年9月に承認されました。

新築するサービス棟は、現在の6・7病棟の跡地に整備し2階建ての建物です。

1階には栄養管理室関連、一般・職員食堂を、2階には、看護職員等の更衣室、休憩室、医師当直室、

看護師長当直室等を整備する計画で、新サービス棟の運用開始は平成26年4月を予定しています。

サービス棟の設計につきましては、可能な限り職員の意見を取り入れたものにしたいと考えております。

企画課 浅松 誠治



サービス棟建設予定地 現6・7病棟

# 穴どるなかれ 恥ずかしがらずに 早めの受診を



石丸 啓医師

誰でもそうですが、お尻はあまり人に見られたくない場所ですよね。症状があってもついつい我慢して病院へ行くことをためらってしまいます。しかし、肛門の病気は非常にポピュラーなもので、日本中で行われている成人の手術で最も多いのは、肛門の手術といわれています。

お尻の症状は結構つらくて、仕事にさしさわると、ストレスの原因にもなります。ですから治療がうまくいくと、「こんなことならもっと早く病院にくるんだっただ！」とおっしゃる方がほとんどです。しかもお尻の症状の影に大腸癌や難病の炎症性腸疾患などが隠れていることがあります。早めに受診しましょう。

また、便秘などの排便機能の診察も行います。

お尻の病気や便秘などは恥ずかしがらないで早めの受診をお勧めします。

外科医師 石丸 啓

## お尻・便秘に関する診察を行っています

### 便秘の分類

**器質性便秘**  
(原因のために腸が通らない)  
大腸癌・ポリープ・クローン病など

**痙攣性便秘**  
(腸壁の痙攣や過活動)  
腹痛を伴うタイプ

**直腸性便秘**  
(排便が直腸まで進まない)  
残便感・排便困難を伴うタイプ

**弛緩性便秘**  
(腸の蠕動運動が低下)  
排便周期が延長するタイプ  
高齢者・出産後・長期臥床者など

## 医療の輪



### 繋がる地域医療連携

グランフジ重信駐車場の中をお借りして、診療させていただいています。愛媛大学、四国がんセンターと公的機関での勤務が長く、開業当初はとまどうことばかりでした。日曜診療時には、小さいお子さん等を診察させていただくことも多く、

患者様から、日々学ばせていただく機会を与えていただいています。愛媛病院では、診療連携室を介してMRI、あるいはCTを撮影していただき、日々の診療にとっても役立たせていただいています。突然に検査の依頼をさせていただき迷惑をかけておりますが、いつも快く対応していただき恐縮しております。今後とも宜しくお願い申し上げます。

## ますもと内科クリニック



施設名 ますもと内科クリニック  
 住所 松山市南梅本甲1271  
 (グランフジ重信駐車場内)  
 電話 089-976-1277  
 F A X 089-976-1278  
 医師 舩本 俊一  
 診療科目 内科  
 診療時間 午前8:30~12:30 午後14:30~19:00  
 土曜日 午前8:30~12:30 午後13:30~17:30  
 日曜日 午前8:30~12:30  
 休診 祝祭日、火曜日



相談コーナーの様子

## 糖尿病教室

## 大好評 相談コーナー

11月14日は、世界糖尿病デーです。松山でも、高島屋大観覧車「くるりん」や松山城が当日はブルーライトアップされました。世界糖尿病デーに合わせ当院でも、11月2日にいつもと少し趣向を変えて糖尿病教室を行いました。

今回は糖尿病と関連性のある睡眠時無呼吸について植田呼吸器科医師の講演があり、その後、理学療法士、薬剤師、地域連携室、栄養士、看護師により各ブースを設置し、相談コーナーを設けました。

理学療法士ブースは、運動の種類、運動の量の相談が多くありました。薬剤師ブースは、インスリンの使用で困ったときの対処方法についての相談がありました。地域連携室ブースは、限度額認定や、介護保険利用についての相談が寄せられました。栄養士によるブースでは、クイズ形式で質問を行い正解者の皆様には、低カロリー食品や、メモ帳など景品も準備されていました。参加者の方からは、積極的な質問があり、皆さんが生き生きとされていました。看護師ブースでは、東日本大震災を受けて、災害時の対策や患者カードなどを配布し、糖尿病網膜症についても目で感じてもらえるようにマダマンズ（眼球模型）を設置し体験してもらい、血糖測定な

どを行いました。ドクターには、各ブースの応援をして貰いました。

終了時には、栄養管理室が当院の麻酔科医師の提供によるサツマイモ（家庭菜園で採れた）で作った茶巾包みも食べていただき「おやつ食べてもいいんですか。」「あっさりしているけどおいしかった。」と非常に好評でした。

参加された方の声も、「講演方式も良かったですが、自分の疑問を直接普段聞けない職種の方に聞いてよかった。」などの声があり、無事終了することができました。

糖尿病教室は、申し込みしていただくと誰でも参加することができます。興味のある方は、外来で申し込みをして参加してみませんか。

5病棟看護師長 島田 由美子



10月31日はハロウィン☆ということで、10月の療育では夏に療育指導室の前でスイカと一緒に大きく育ったドテカボチャを使いランタンを作りました。カボチャにあの三角やギザギザの特徴的な目や口を描いて切り抜いて…。ランタン作りに参加した利用者の中には、何が出来るのかと興味津々でじっと作業を見つめている人や、見えやすいように近づけると出来上がった見慣れないものに不安を感じたのか手で押し返す人、なかなか触れようとしない人も数名いました。

ハロウィンのイベントが日本でもよく知られてきたのはここ数年程のことではないでしょうか。まだよく知らないという方もいらっしゃるかもしれません。

そもそもハロウィンというのは数千年前の古代ケルト民族による秋の収穫感謝祭が起源と言われています。古代ケルト民族の暦では1年の終わりは10月31日で、この夜には死者の霊が親族を訪ねて

くると信じられていました。日本で言うお盆です。しかし、日本と違うのは死者の霊だけではなく、一緒に悪い霊や魔物、魔女なども降りてきて地上をうろつき作物を荒らしたり子どもをさらったりすると考えられていました。そこから様々な怖い魔物やオバケの衣装をして悪霊や魔女などを追い払うようになったそうです。その後キリスト教に取り入れられて広まり、アメリカに移ってからは、主に子どものお祭りとして行われ、賑やかに騒ぎ、ご馳走を食べる収穫の祝いの行事になっていきました。

今回作ったカボチャのランタン(Jack-o'-Lantern)は死者の霊を導いたり、悪霊を追い払う為の焚き火として、ハロウィンの日には不可欠なものになったそうです。

最近はイベントとしてもだんだん定着してきていて、英会話教室や幼稚園・学校・地域などでパーティやイベントが開催されています。今後の療育でもハロウィンについてのお話や衣装、飾り付けなどで楽しんでいきたいと思っています♪みなさんも是非ハロウィンの飾り付けや衣装をして、楽しんでみませんか? ☆

療育指導室 保育士  
藤田 典子



少ない負担  
早い回復

## 腹腔鏡手術

ノ  
ス  
メ



手術中の鈴木医長（右奥）湯汲医師（左）

今回は、腹腔鏡手術についてお話ししたいと思います。

まず腹腔鏡手術とは二酸化炭素を腹腔内に注入しサーカステントを張ったような状態とし、数個の5～10mmの切開創より腹腔鏡であるCCDカメラや鉗子（手術用処置器具）を挿入し、腹部内臓の手術を行うことをいいます。もともと婦人科の医師が腹腔鏡の際に胆のうを摘出したのがきっかけといわれており、その傷や痛みの少ないことが知られ、この方法が爆発的に世界中に広がりました。

つまり、手術後に咳をする際の痛みが少ないことで、痰が出しやすくなり、手術後の肺炎が減りました。また無理せず立つことができるため、離床がはやくなりました。このため手術を受けたご本人やご家族のみならず医療スタッフの物理的・精神的ストレスが減りました。さらに手術後の腹腔内の癒着が開腹手術に比べて少ないことがあげられ、それによる術後の腸閉塞が減少しました。

また外科医からみて、腹腔鏡の最大の利点といえ

ば、拡大した腹腔内局所の映像がCCDカメラから得られることです。これは正確な術中判断に役立ち、繊細な手術操作へとつながります。インターネットは、時間を距離を超え、立場を国をも超えて、これら映像の共有を可能とし、世界中の外科医の発展を加速しています。こんにち若手外科医も学生も誰でも自由にYouTubeでこれらの映像を見ることができるとは驚くべきことです。

ただ、これまで開腹で勉強してきた外科医にとって、画面映像を見ながらマジックハンドのような鉗子で手術することは、手術技術のハードルをあげてしまったことも事実です。そしてこれからの外科医は、おそらくさきに腹腔鏡手術を習得するでしょうけれども、手で触れて行う開腹手術の経験の機会が減り、いざというときのための経験も減ることは、ジレンマのあるところでは。

日本における胆のう疾患に対する腹腔鏡手術数は、1998年から今日に至るまで年間2万件前後の報告があります。そして総数では、年間6万件以上（日本内視鏡外科学会：2009年分）もの報告がある腹腔鏡手術はこれからも発展すると予想されます。

当院でも内視鏡手術を行っておりますので、該当する疾患をお持ちの方は、外来等で気軽にご相談ください。

## 遊びをせんとや生まれけむ 院内ソフトボール大会 戯れせんとや生まれけむ

朝晩寒くなってきた10月初め頃、第5回院内ソフトボール大会が愛媛病院のホームグラウンド？である川内運動場で開催されました。皆、楽しくプレーし最後は「勝つ！」をモットーにしています。手術室の看護師を中心に活動し5回目を迎えたことに感謝します。



試合はAチーム、Bチームに分かれ2試合行いました。ソフトボール経験者や未経験者、甲子園に



出場した経験のある人、体を動かすことが好きな人、気が弱く小心者の人、さまざまな方が参加してくれました。豪快にホームランを狙う人やいぶし銀のようなバッティングをする人、ゴールデングラブ賞を獲得するような守備職人、ファインプレーや珍プレーもあり楽しく過ごすことができました。またバットを振り回している姿を見ると日頃の想いをボールにぶつけているように見受けられます。さまざまなプレーやゲーム展開に一喜一憂し、ミスをすればチームの仲間がカバーする、それが愛媛病院の伝統であり、職員の人柄の良さを感じました。

最後に、この大会を通じて職員間の交流の場になり普段の仕事の場で生かせれば幸いです。参加人数が減ってきています。次回は来春に予定しています。大勢の参加を期待しています。

診療放射線技師 阿部 貴宣



# 来た！見た！感じた！

私は将来、患者さんの話をしっかり聞き、少しでも不安を和らげる事ができる看護師を目指します。素敵な三日間を本当にありがとうございました。  
仙波 響 (せんば ひびき)

私は今回の体験で職員の方々が患者様のことを第一に考えて行動し、常に笑顔で看病に尽力されていると感じました。

入浴ができない患者様に、足や体を拭いて差し上げたり、気分転換がうまくできない患者様に花を見せて差し上げたりしていました。

職員の方々の献身的な仕事を三日間拝見し、私は改めて、患者様のことを第一に考えられる看護師になろうと決心いたしました。ご多忙なか、多彩なプログラムを提供して頂いた職員の皆様、本当に三日間お世話になりました。

成松 利紗 (なりまつ りさ)

私にとって、三日間の実習はとても充実していました。

看護師の母に憧れ、幼い頃から看護師になりたいと思っていた自分には院内に働くすべての方々が生き生きと輝いて見え、同時に「看護師になりたい思い」が一層強くなりました。

一番関心を持ったのは、「チーム医療」です。一つの症例に向かって様々な職種の方々が知恵を出し合い、病気の克服に努めるとともに生活の質を高める活動に、まとまりや連携を感じました。一人の患者さんを治すために、多くの医療従事者が働く姿勢に心惹かれました。私も医療組織の一員になれるように勉強を頑張ろうと思います。

今回はこのような体験をさせて頂き本当にありがとうございました。

中矢 瞳子 (なかや とうこ)

今回の体験で、私は患者さんの病気と闘う意志と、それを支えるスタッフの方々から元気をもらいました。院内の多彩な職種の皆さんから、人の気持ちを察することの大切さを学び、人間としても成長することができたと思います。また、人が人を支え、命を救うということにとっても感動し、私も微力ながらお力になりたいと思いました。体験中に、「看護師の笑顔で少しでも患者さんの不安を和らげることができる」というメッセージを頂きました。



栄養管理室で検量見学

私は栄養士について体験させて頂きました。三日間という短い間でしたが、栄養士はどんな仕事をするのか詳しく知ることができました。

一番驚いたことは、一人ひとりに合う食事を考えていることです。患者さんの病気も知っていなければいけないし大変だと思いました。でも、その食事のおかげで病気が良くなると嬉しいと聞いてそれだけやりがいもある仕事だということも分かりました。

この体験を通して、自分に不十分な点を見つけることができたので、これから頑張っていきたいです。今回は貴重な体験をさせて頂いてありがとうございました。

野中 優奈 (のなか ゆな)



車椅子介助体験

インターンシップという場で僕が学んだことは、人との関わりです。患者さんと看護師さんの関係も、スタッフ同士のコミュニケーションがとれ調和した人間関係を築いていてその心地よさに驚きました。実習に来ていた学生さんもそれに染まったいい雰囲気、僕たち高校生にも優しくして頂き、看護師という職業に就きたいという思いがより一層強まりました。また、患者さんの症状に合わせた看護のなかで、さらに細分化した立場がある事にも興味湧きました。今回は自分の進路について改めて考える機会を作って頂き本当にありがとうございました。

佐々木 亮太 (ささき りょうた)

今回の体験で多くのことを学ぶのと同時に自分自身の考えも改めさせられました。患者さんに優しく明るく対応する看護師の方々、早く丁寧に手術する医師の方々の姿がとても素敵で自分の決意も高まりました。看護師の梅木さんは、「何より患者さんの『ありがとう。』が励みになる。」とおっしゃっていました。三日間の体験のなかでその一言を言われるたびに胸が熱くなり梅木さんの言っていたことが少し分かったような気がしました。患者さんも看護する方もお互いに支えあって、たくさんの人の協力で医療は成り立っているんだと思いました。貴重な経験をありがとうございました。

河端 麗那 (かわばた れいな)

# 東温高校インターンシップ

2012.11.6～8

三日間、愛媛病院で職場体験をさせていただいて学ぶこと、初めて知ったこと、驚いたこと…私にとってすごく濃厚なものになりました。ナースコールに走る看護師さん、患者さんと楽しそうに話す看護師さんがすごくかっこよかったです。忙しい中、私たちのために丁寧に教えて下さって本当にありがとうございました。普段体験できない事を沢山体験できて貴重な体験になりました。

山野内 綾香 (やまのうち あやか)

「栄養士になりたい」と三日間の体験を終えて強く思いました。患者さんのそれぞれの栄養状態に合わせた献立を考えていたり、一人ひとりの栄養管理をしていて、人と人の関わりも大切な仕事だと思いました。また、医師や看護師の方々と広くつながり、栄養士だけでなく病院全体が一体となって温かい雰囲気です。プロとして働く事の重要さも学ぶことが出来たので社会人になったときに困らないよう、栄養士になりたいという夢を実現すべく心も知識も向上させていきます。素敵な三日間をありがとうございました。

濱岡 優実 (はまおか ゆうみ)

この三日間のインターンシップを通じて私はたくさん学び、多くの体験をしました。

病院というものは、患者さんの命と直結した仕事の場であり、毎日が新鮮なものでした。仕事場の空気や雰囲気に緊張状態が続きました。そして、実際の看護師の方々の仕事ぶりを間近で見ている皆さんのコミュニケーション能力の高さ、ナースコールは何種類かあること、看護の仕事に必要なものをワゴンに積み込んで様々な物資や道具がそこから繰り出されて仕事が進む様を確認できました。

この三日間で体験した感激を私の将来に活かしてゆこうと思います。

渡部 直樹 (わたなべ なおき)

今回のインターンシップはとても良い経験になりました。毎日初めて見るものばかりで新鮮な日々でした。普段は見られない手術室や患者さんへの処置を見ることが出来ました。



最も印象に残っているのは車椅子を押して歩いたことです。初めて押したので、看護師の方々の見よう見まねでやってみました。操作は思った以上に難しく、大変でした。

看護師の方を見ているとまめに話しかけ、コミュニケーションをとっていました。改めてその大切さを学ぶことができ、充実した三日間になりました。本当にありがとうございました。

仙波 賢幸 (せんば よしゆき)

今回インターンシップで三日間看護師の仕事を経験させていただきました。実際に体験してみると、分からないことばかりで大変でした。しかし愛媛病院の方々が親切に教えて下さいましたので、充実したものになりました。

今回の体験で、看護師になりたいという気持ちが強くなりました。まだまだ専門知識がないので、これから看護師という仕事に就けるように、勉強を頑張りたいと思います。

この体験を将来に活かしていこうと思います。三日間たくさんの方のことを教えて下さってありがとうございました。

和田 直也 (わだ なおや)



将来なりたい仕事を、近くで見学することができた今回のインターンシップは、学ぶことが多々あってとても貴重なものでした。普段自分が行くことのない病棟を見学することができ、また各病棟の看護師長さんに詳しく説明していただいたので、見えていなかった部分が見え、視野が広がりました。この三日間で一番印象に残ったのは手術見学です。テレビでしか見たことのなかった光景を実際に見ることができ、感動しました。

お忙しいなかを私たちのために様々な体験を用意して下さいました。ありがとうございました。

丹下 彩香 (たんげ あやか)

# 医療安全 管理より だより

㊤こんなことしています

## K危険 Y予知 Tトレーニング

「KYT」をご存じですか？危険の「K」、予知の「Y」、トレーニングの「T」の頭文字をとった日本語の造語です。本来KYTは、工業界において、危険に対する感受性を磨く訓練として作り出され、これを医療界に取り入れたものです。

KYTの目的は、まだ起きていないエラーや事故の可能性を察知し、事前に防止する手立てを講じる能力を身につけることです。言い換えれば、「患者安全の先取り」です。

先日10月17日に、東京の日本赤十字社事業局・医療事業部・医療安全課長の杉山良子先生を迎えて、全職員対象に「KYTの基礎知識と実践・KYTでリスク感性を磨こう」のテーマで研修を行いました。全国で幅広く活動されている杉山先生に分かりやすい講義をしていただきました。あっという間の90分でした。

医療には、今その場では目に見えていない潜在リスクが必ず存在します。そうした潜在リスクを洞察する力を、日頃から養っていくことが重要です。そうすれば、人間の特性や医療機器の有害性（操作ミス、管理不足等）にも敏感となり、患者の状態変化にいち早く気づいて、エラー・事故防止につなげられることを学びました。

医療安全は終わりのない旅、安全文化は達成されることなく洗練される過程のみがあるとされています。私たち愛媛病院職員も、臨床現場での学びや経験を事故の未然防止にどう活かしていくか、日々の挑戦は終わりません。患者安全への取り組みは、全職員が謙虚さをもって個々の役割を果たせるよう継続して努力することが必要と考えます。



## しきさんさん 四季燦餐

### おせち料理の巻

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

新しい年の幕開けにふさわしいお料理といえば「おせち料理」ですね。

おせち料理の定番となっている食材には、一つ一つ意味が込められています。皆さんはご存じでしょうか。そこで今回は、おせち料理の由来と食材に込められた意味を当院でもおせち料理に使用している食材と合わせてご紹介したいと思います。「おせち」とは、平安時代に宮中で行われていた「お節供（おせちく）」が省略されたものです。おせち料理は、節目（元旦と五節句）に神に供えた料理のことですが、やがて、節目の一番目にあたる正月の料理だけが、「おせち料理」と呼ばれるようになったそうです。

それでは、平成24年元旦の当院のおせち料理の写真と共に食材の意味をご紹介します。

「黒豆」家族皆がマメに元気で働けますように。「田」

作り」昔は、小イワシを田んぼの肥料にしていたことから、五穀豊穰を願う縁起物とされています。「かまぼこ」「赤」は魔よけを意味し「白」は清浄で清らかでありますようにとの願いが込められています。形は、新しい門出を祝うにふさわしい日の出を意味し、縁起を担いでいます。「エビ」ひげが長く腰が曲がっている様子が高齢者を連想させることから、長寿祈願の願いを込めて…。

「おせち料理」は、家族の幸せを願う縁起物のお料理です。一年の初めにじっくりと食したいですね。



平成24年元旦の献立



# 看護学校の頁 ～学び舎から～

## '12.12.5 決意式

入学して8ヶ月が過ぎました。この間は想像していた以上に目まぐるしく、課題や実技練習に追われると共に、どんどん近づく1月の臨地実習への不安が高まりつつありました。

そんな中で迎えた今回の決意式では、学校長先生始め学校職員、病院職員、上級生、家族に見守られながら、ナイチンゲール像の手から看護の灯を受け継ぎ、決意の言葉を述べ気持ちを新たにすることができました。

学校長先生からは、全員が国家試験合格の金メダルを目指しましょうとの激励のお言葉、上級生から実習の助言を頂き、一人一人がより具体的に実習を捉えるようになり、クラス全体の意識が更に高まりました。

これからは、今日誓った決意を胸に、クラス全員で支え合いながら、知識・技術はもちろん、人々を明るく照らす心を持った看護師を目指し、歩んでいこうと思います。

第11期生 高木 叶恵



『看護の灯』を受け継ぐ11期生

## '12.10.27 学校祭



男子生徒のダンスパフォーマンス

10月27日土曜日「Colors of nursing」のテーマのもと第11回学校祭を開催しました。今回は、新しい試みとしてヨーヨーつりやミニコンサートなどを企画に取り入れしました。催し物では病棟の患者様や外部より来校される方々に楽しんでいただけるよう、試行錯誤して全学年で協力し合いながら準備しました。

当日は来校された方々のたくさんの笑顔を見ることができました。また学校祭の準備・運営をしていく中で、クラスの絆・学年を越えた絆が生まれ、「1つの物事をみんなで作り上げていく」という達成感を得ることができました。ご協力くださいました皆様にお礼申し上げます。

学校祭実行委員長  
第2学年 福住あやね  
副実行委員長  
第2学年 渡邊 愛



来てね (^▽^)

### ちよんと言いつつ放し

愛媛病院ニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

原稿依頼(命令)に戸惑いつつ、「テーマは特になし」これが一番悩ましい依頼ですが、債鬼の如き原稿取り立てが来る前に「愚痴というか建前と本音」ということで書いてみようかと。

コミュニケーションを取りましようとか連携が大事とか、お題目だけが独り歩きして現実が伴わないことに疲れきった今日この頃。何気なく交わした言葉に元気づけられたり、ほっとすることがありますよね。そんなエピソードを一つ。

東温市に「白猪の滝」という観光スポットがあります。昨年の二月、小雨模様の午後一人登ってみました。正確には職場の若者に断られやむなく一人で登ったというのが実情です。

登り初めてすぐに急勾配の道が続く、お気軽な散歩と高を括っていた私にとってはかなりのきつい上り坂でした。氷雨の中傘もささずに登っている姿は他人から見ると、名勝の滝を見に出かける姿とは言い難く、「クタクタの中

年が独りで...まさか!」とあらぬ疑いをかけられ、シヨボクしぶ



りだつたと思います。途中で「引き返そうか」と心のつぶやきに足を止めます。「ここまで来たのに」と別のつぶやきが聞こえます。しばしの葛藤あるいは迷いの休憩時間。結局「ここまで来たのに」の声に背中を押されて再び登り始めました。その時、下山して行く家族から「きれいでしたよ」の挨拶をもらい、先ほどまでのモードに切り替わり、足取りも軽やかに(気分だけは)先に進むことができました。何故だか分りませんが声かけに元気づけられたのは確かです。

凍った路面に気をつけて進んでいくと、目の前には本来であれば水しぶきを上げて流れ落ちているであろう滝が、時間が止まっているかのように凍り付き、曇り空の下でも淡い青色に光っています。あまりの見事さにしばし見とれておりました。

自然の美しさ(挨拶)してくれた家族に感謝しつつ帰りは上りと違い一気に駆け下りた感じですが、疲れもなく、何か温かな心でいっぱいでした。

こんな、何気ないけれど人を元気づけられる。或いは幸せな気分になれる言葉かけや関わりができればいいなと思うこの頃です。

木瓜

診療科	月	火	水	木	金	
内科	循環器内科	岩田 船田	船田 藤田 藤井	藤田	岩田	船田
	消化器内科	古田	山内(一)	久保	山内(一) 糖尿病専門 廣岡	久保
	呼吸器内科	阿部	市木 渡邊	佐藤	阿部 植田	市木
	神経	橋本	加藤			戸井
外科	外科			石丸		
	消化器外科		鈴木		渡部 (隔週・午前)	
	呼吸器外科				澤田・末久 第1・15時~	湯汲
	心臓血管外科				泉谷 (隔週)	
整形外科 午前のみ診療	横手		横手		宮本(第2・4)	
	宮本		代診医	宮本	代診医 (第1・3・6新患のみ)	
専門外来 (完全予約制)	心臓リハビリ 藤田	心臓リハビリ 藤田	心臓リハビリ 船田	心臓リハビリ 船田(第2・4午後)	心臓リハビリ 藤田	
		SAS外来 渡邊 (14時~16時再診のみ)	アスベスト外来 (13時~16時)	SAS外来 植田(午後)	じん肺外来 西村 (第1・3午前)	
	皮膚科 第1・3(午前)	皮膚科 第1・3(午前)	ペインクリニック 山内(康)	アスベスト外来 (13時~16時)	糖尿病外来 古川 (第2・4)	
		アスベスト外来 (13時~16時)	アスベスト外来 (13時~16時)	神経難病 橋本	糖尿病外来 古川 (第2・4)	

※外来受付は午前8時30分から午前11時までです。ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。 2013年1月1日現在  
 ※容体急変の心臓疾患・急性呼吸不全の患者様は24時間受け入れします。  
 ※SAS(睡眠時無呼吸症候群)

## 独立行政法人国立病院機構 愛媛病院

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251  
 ホームページアドレス <http://www.ehime-nh.go.jp>

### 当院の位置と交通



#### 高速道路川内ICまでの所要時間

- 三島川之江IC(70km) 50分
- 高松西IC(130.9km) 1時間30分
- 徳島IC(170.9km) 1時間50分
- 高知IC(130.1km) 1時間30分  
(川内ICから当院まで車で5分)

#### 交通機関

- 電 車 伊予鉄高浜横河原線横河原駅下車徒歩7分  
または、愛大医学部南口駅下車徒歩3分
- バ ス 伊予鉄松山市駅川内方面行横河原下車徒歩10分
- 自家用車 松山市から30分 伊予市から40分 西条市から60分  
無料駐車場完備

※弊誌の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。